

平成 21 年 1 月 14 日

報道関係各位

東京都世田谷区太子堂 2-7-2

株式会社 QLife

「昨年よりも受診は増」だが費用は抑制。女性は「我慢」、中高年男性は「予防」。

生活者の「2009 年の医療機関の利用意向」調査

日本最大級の病院検索サイトを運営する株式会社 QLife (キューライフ／本社: 東京都世田谷区、代表取締役: 山内善行) は、『2009 年の医療機関利用のしかた意向調査』の結果を発表した。外部のインターネット・調査パネルを使って、出産や大きな手術の前後ではない 20 歳以上の男女 500 人から回収したもの。

それによると、「昨年よりも今年の方が、医療機関にかかる回数が増える」と予想する人が、「減る」と予想する人の 2 倍であった。増える人の理由として 5 割が「漠然と健康不安」を挙げ、減る人の理由として 3 割が「お金に余裕がない」を挙げるなど、昨今の健康不安・経済不安の世相を反映している。

また、症状があっても「我慢」をして医療機関に行かないことがあると予想する人も多く、20-40 代女性では 7 割にのぼる。一方、今年は昨年より「予防」に努力する人は多く、特に中高年男性の意識が高い。「予防接種」「健診・人間ドック」も昨年より積極傾向だ。

なお、医療機関にかかった場合に、「通院回数を減らす」ことを昨年より意識する人が 30%。さらに、50 代では「安い薬にする」も 33% と高く、この世代がジェネリック薬品の利用拡大を牽引しそうだ。

【調査実施概要】

▼調査責任 株式会社 QLife

▼調査実施機関 楽天リサーチ株式会社

▼調査概要

調査方法：

- (1) 調査対象：20 歳以上の生活者。ただし妊娠中、出産一年未満、ガンなど重い病気、一年以内に大きな手術をした人を除く
- (2) 回収数: 500 人、うち有効回答: 500 人（有効回答率 100%）
- (3) 調査方法：インターネット調査
- (4) 調査時期：2009/01/07～2009/01/09

▼有効回答者の属性

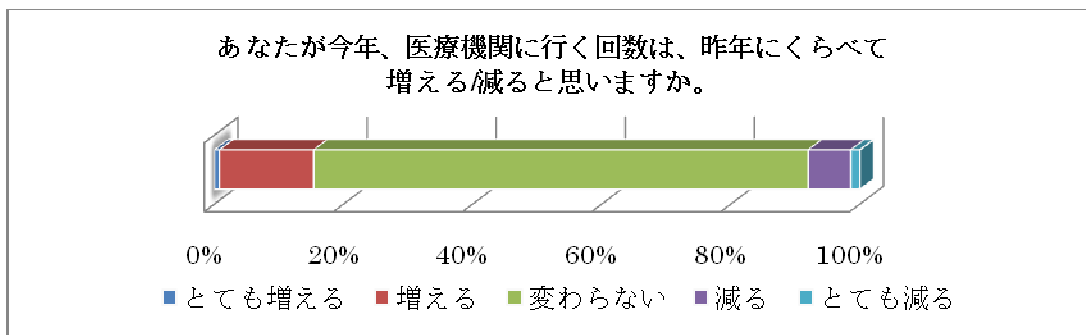
(1) 性・年代：20代、30代、40代、50代、60代以上で男女各50人ずつ（計500人）

(2) 地域：巻末

【結果概要】

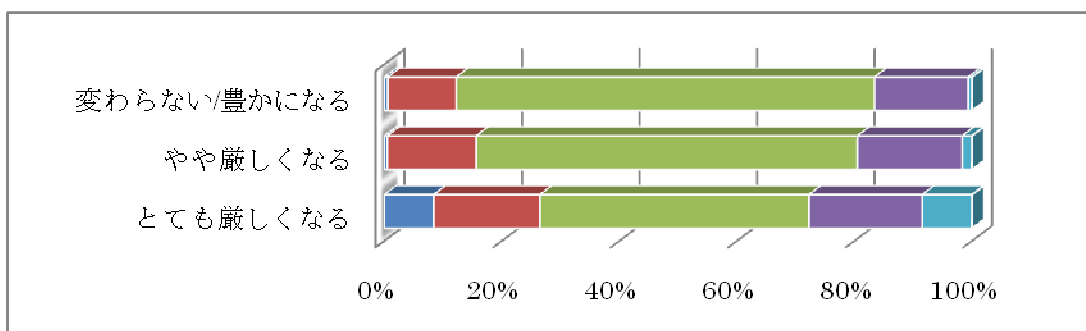
1. 今年、医療機関を受診する回数

77%は昨年と「変わらない」と予想するが、15%は「増える」、8%は「減る」と回答。健康に自信を失いつつある日本人(※)の傾向が表れている。



<参考>「家計」が厳しくなる見込みの人ほど、「増える」も「減る」も多くなる

別途、QLife 会員(※※)対象に同じ調査を行なった結果では、「昨年と比べて自分の経済状況が、厳しくなる」と予想する人ほど回数の「増」「減」が激しい。なお、全般的に「減る」比率が上記調査よりも高いのは、QLife 会員は一般生活者よりも「現在すでに通院中」の比率が高いためと思われる。



注：

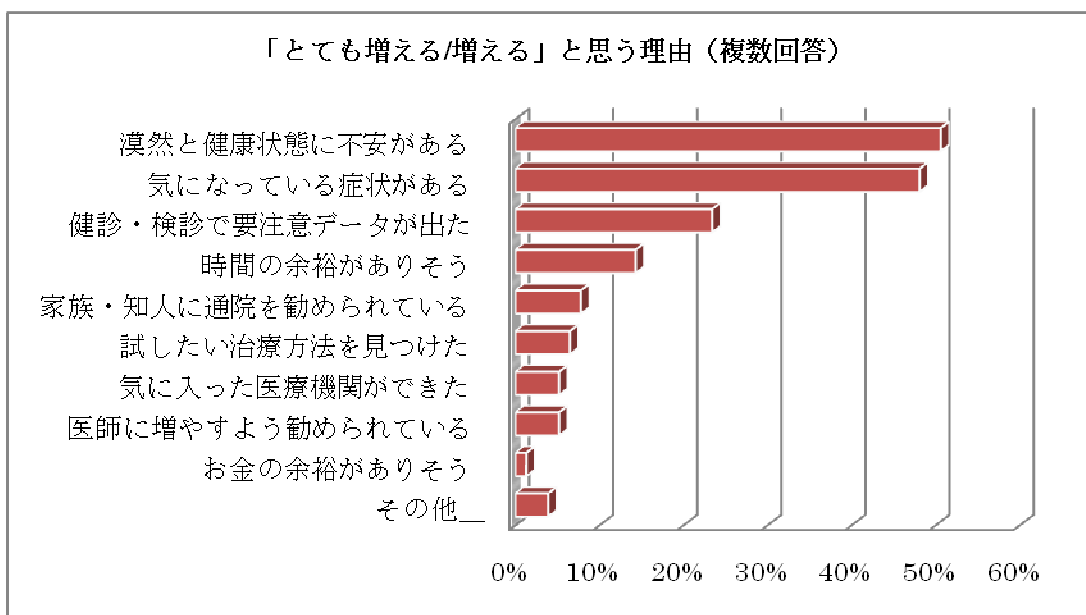
※厚生労働省の調査(国民生活基礎調査)によると、自分の健康状態を「よいと思っている」人は平成16年41%→平成19年36%と減少。

※※病院検索サイトQLife(<http://www.qlife.jp/>)の登録会員(総数14万人)に対して、ほぼ同時期・同内容・同規模の調査を実施。ただし「妊娠中」「出産一年未満」「がんなど重い病気」「一年内

に大きな手術をした」人の回答は、集計から除いている。

2.「受診の回数が増える」と思う人の理由

「増える」人が挙げた理由は、「気になる症状がある」よりも、「漠然と健康状態に不安」とする人が多く、51%。ここでも、健康に自信がなくなっている様子が受け取れる。

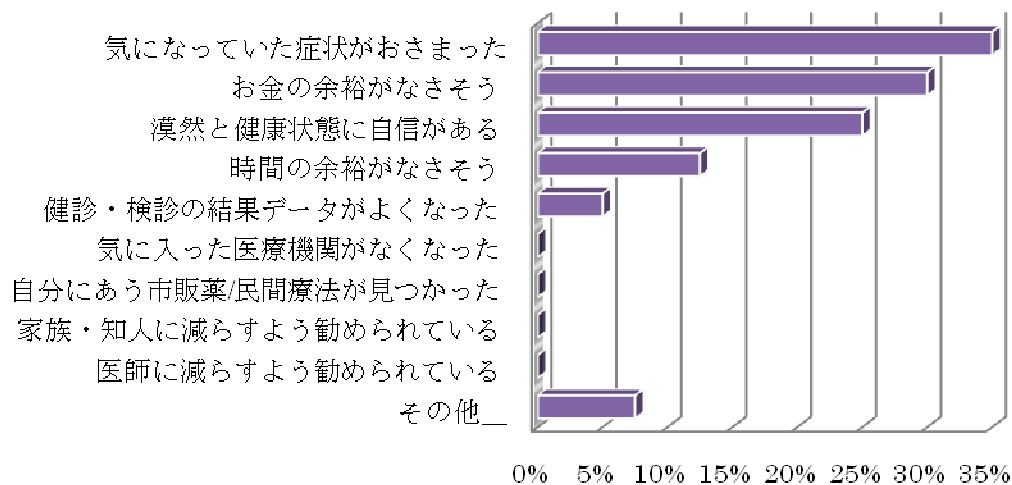


3.「受診の回数が減る」と思う人の理由

一方、「減る」とした人の理由は、「症状がおさまった」の次に「お金の余裕がなさそう」が多く 30%。特に 20-40 代に「お金」を理由に受診回数を減らそうと思っている人が多く、昨今の不況を反映している。

なお、前出の＜参考＞調査結果での、「家計が昨年よりも厳しくなる」人ほど、「医療機関にかかる回数は減る」と答える傾向とも合致する。

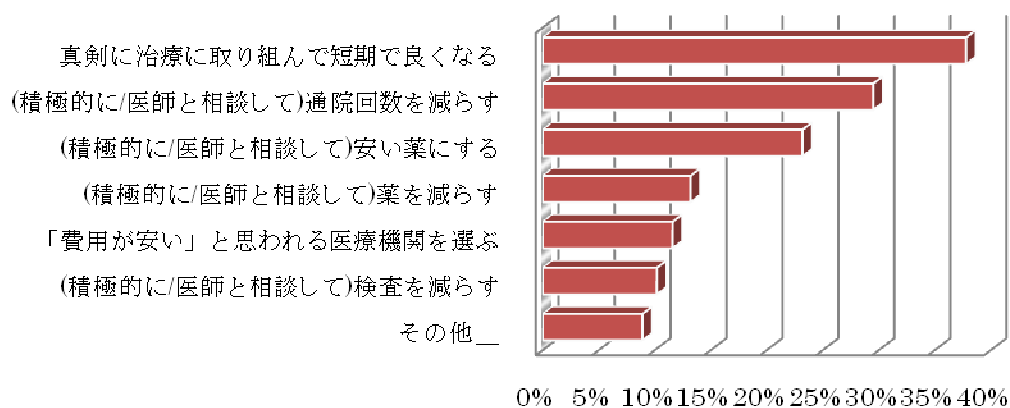
「とても減る/減る」と思う理由（複数回答）



4. 費用を抑える目的で、昨年よりも意識すること

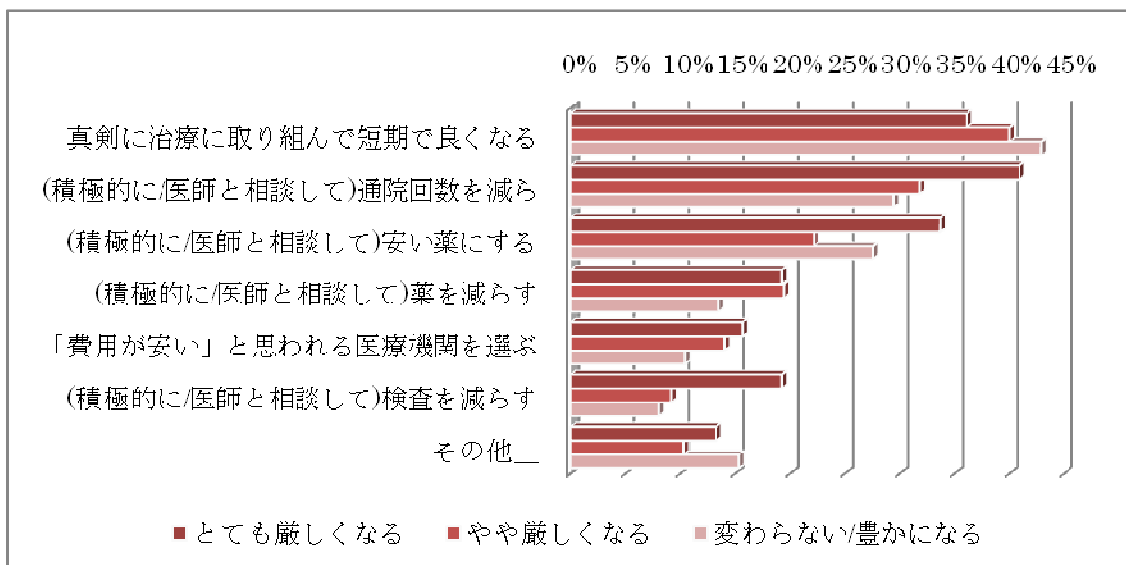
「真剣に治療に取り組む」という王道が 38%で最多だが、「通院回数を減らす」も 30%。さらに、「安い薬にする」も 23%と多かった。特に 50 代は 33%と高く、20 代や 60 代以上が 18%程度であるのと比べて際立っている。50 代がジェネリック薬品の利用拡大を牽引しそうだ。「安い医療機関を選ぶ」は、全体では 12%だが、年齢が若いほどその傾向が強い。「薬を減らす」「検査を減らす」は少数派。

医療機関にかかったら、費用を抑える目的で、昨年より意識すること



<参考>「家計」が厳しくなる見込みの人ほど、「増える」も「減る」も多くなる

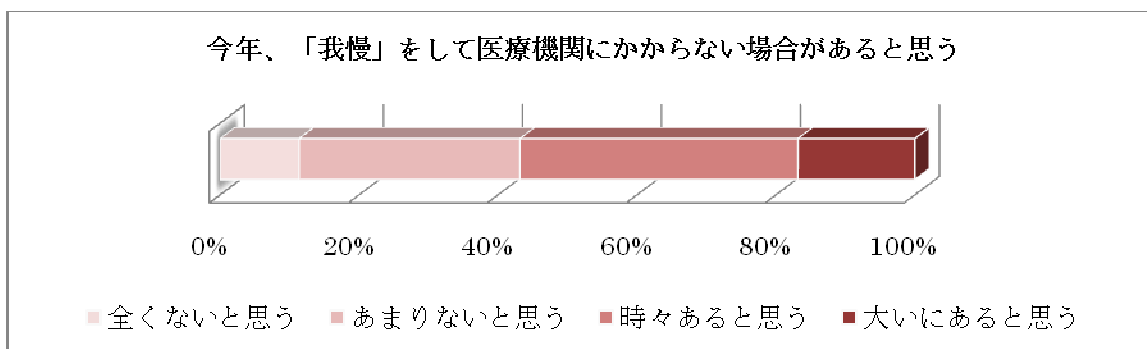
QLife 会員対象調査(前出※※)の結果では、「家計が厳しくなる」ほど、“王道”が減り、逆に「回数減」や「安い薬」など他の策をとる人が増える傾向が見える。



5. 症状があっても、受診を我慢

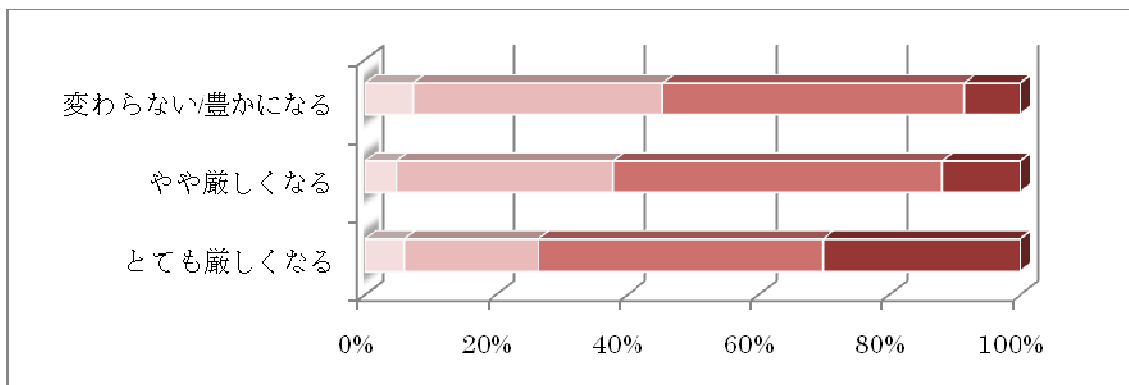
症状があっても「我慢」して医療機関にかからないことが、今年、「大いに/時々あると思う」人が 57% にのぼった。特に 20-40 代女性では 69%が「あると思う」と答えた。

では、どんなときに我慢するつもりだろうか？ 具体的に聞いてみると、「(重くない)風邪」と答えた人が約半数。その他「腰痛」「膝や肩などの関節痛」「アレルギー」など、ある程度経験値を有する”持病”の症状であれば我慢しようとする人が多い。その他では「歯痛」や、「頭痛」「胃腸」「打撲・捻挫」など市販薬が多い領域で、医療機関に行かずに済まそうとする人も多い。



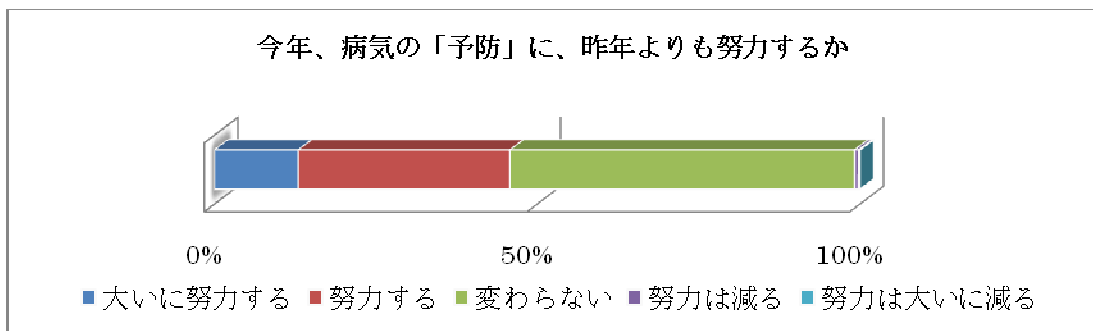
<参考>「家計」が厳しくなる見込みの人ほど、「我慢」する傾向が顕著

QLife 会員対象調査(前出※※)の結果では、「家計が厳しくなる」ほど、「我慢」しようとする人が増える傾向が伺える。



6. 昨年よりも「予防」に努力

「昨年よりも予防に努める」のは 46%。特に 50-60 代以上の男性と、50 代女性に「大いに努力する」層が多く、それぞれ 18%、16%。と高い。果たして”誓い”は守られるだろうか？



7. 予防する内容(複数回答) 注:「昨年よりも努力の度合いが大きくなるもの」だけを回答

努力内容は2種類に分かれた。第 1 群は「食事」「運動」「清潔・うがい」「睡眠」など基礎的なこと。54-67%と多くの人が気をつける予定だ。

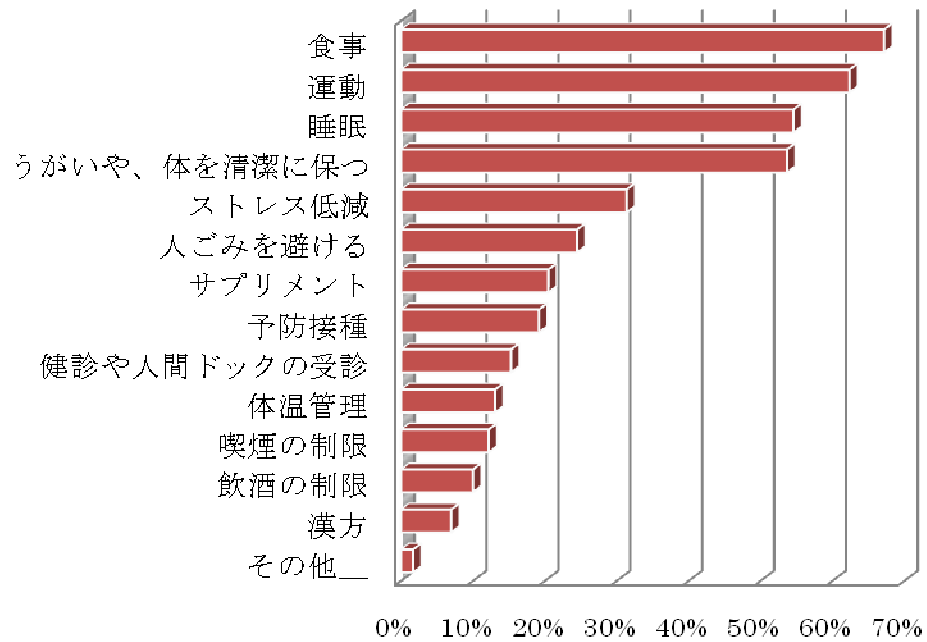
それ以外は、人それぞれで異なり、「ストレス低減」31%、「人ごみ避ける」25%、「サブリ」21%と並ぶ。

なお、医療機関での予防手段を、昨年より積極的に使おうとする人も多く、「予防接種」19%、「健診・人間ドックを受診」15%であった。厚生労働省の調査(※)でも「健診・人間ドックの受診率」は上昇傾向であり、積極姿勢の人が増えている様子が伺える。

注:

※厚生労働省の調査(国民生活基礎調査)でも、「健診等」「人間ドック」の受診者は、それぞれ平成 16 年 60.4%、4.9%→平成 19 年 61.5%、5.5%と増加傾向を示している。

今年、「予防」のために、昨年よりも努力すること



以上

▼有効回答者の属性

(1) 性・年代：

	男	女
20代	10.0%	10.0%
30代	10.0%	10.0%
40代	10.0%	10.0%
50代	10.0%	10.0%
60代以上	10.0%	10.0%

(2) 地域：

北海道	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	茨城	栃木	群馬
3.2%	1.6%	0.6%	2.8%	0.6%	1.0%	0.8%	1.6%	0.8%	2.2%
埼玉	千葉	東京	神奈川	新潟	富山	石川	福井	山梨	長野
5.6%	8.0%	12.8%	7.6%	0.6%	0.2%	1.2%	0.4%	0.2%	1.6%
岐阜	静岡	愛知	三重	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山
1.6%	3.0%	5.8%	0.8%	1.0%	2.6%	9.2%	4.8%	1.6%	0.6%
鳥取	島根	岡山	広島	山口	徳島	香川	愛媛	高知	福岡
0.2%	0.2%	1.2%	2.2%	0.4%	0.2%	1.8%	1.0%	0.4%	3.8%
佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄			
0.4%	0.4%	1.6%	0.4%	0.6%	0.2%	0.6%			

<株式会社 QLife の会社概要>

会社名：株式会社 QLife（キューライフ）

所在地：〒154-0004 東京都世田谷区太子堂 2-7-2 リングリングビル A 棟 6F

代表者：代表取締役 山内善行

設立日：2006 年（平成 18 年）11 月 17 日

事業内容：健康・医療分野の広告メディア事業ならびにマーケティング事業

企業理念：生活者と医療機関の距離を縮める

サイト理念：感動をシェアしよう！

URL： <http://www.qlife.co.jp/>

本件に関するお問い合わせ先：

株式会社 QLife 広報担当 山内善行

TEL： 03-5433-3161 / E-mail： info@qlife.jp
